

会社更生法=官製合理化攻撃 反対! 職場再建闘争の隊列 に加わろう!



総評全国金属労働組合
大阪亜鉛支部

写真説明

表紙
裏表紙

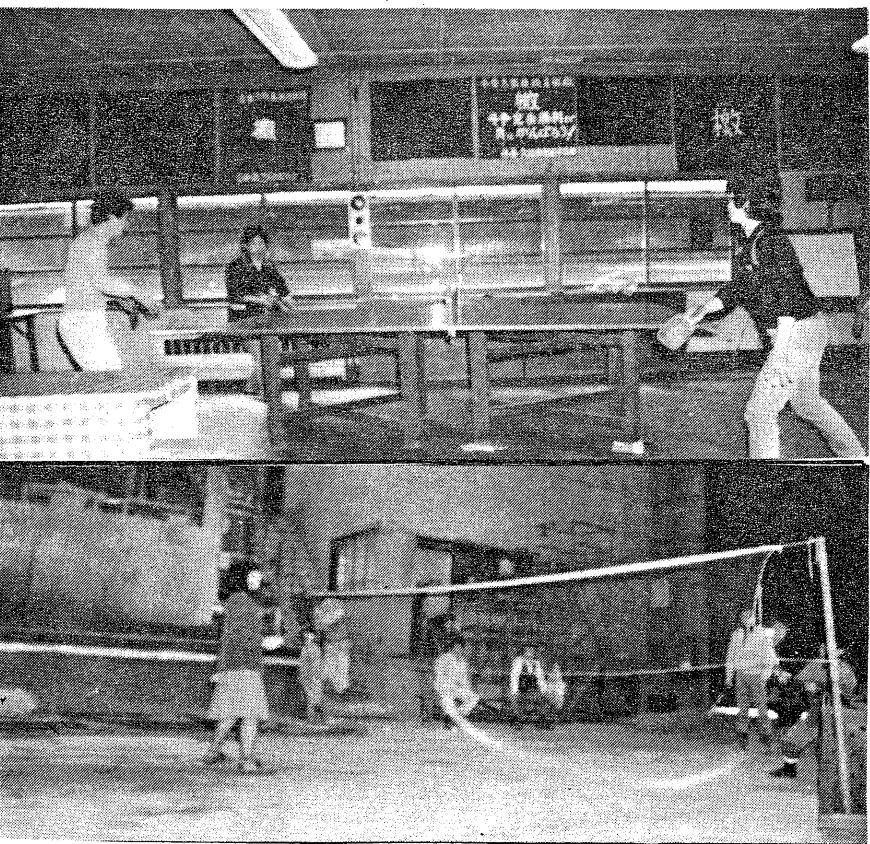
一九八四年六月 反安保のデモ
(一九八四年六月)
箕面に地域の仲間とハイキング

はじめに

青年の労働組合離れが言わされてから久しい。
しかし、私たちの職場がある港には、労働者
の人格権を主張し、地域に根づいた生活と闘
いがある。

私たちは、会社更生法という倒産攻撃の中
で、一〇年間労働者の権利を確保しながら頑
張りぬいている。

工場労働者として、私たちと共に労働に汗
しながら、労働運動の一層の発展のために共
に闘いぬいていきませんか。



(上) 昼休み、食堂で卓球 (下) 昼休み、工場の一角でバトミントン

闘いの足跡

▼この工場に組合が結成されたのは、一九五八年のことである。

▼港をふくむ南大阪の地域は、戦前・戦後を通じて労働運動の力強い足跡を残してきたところである。

藤永田造船大争議（一九二一年）、大阪市電高野山大闘争、日本軍国主義の中国侵略が本格化する中での反戦・反ファシズム統一戦線の先駆の闘い、そして敗戦後も全国的な課題と果敢に闘い、個別争議支援のための地域共闘が真剣に追求されたところである。

▼大阪亞鉛鍍金の工場は、港区の福崎にある。

仕事の内容は、ガス管、水道、土木建設材の溶融亜鉛メッキ（どぶづけメッキ）である。作業工程は、前処理（組み込み、カセイソーダによる脱脂作業、硫酸液によるさびおとし）—亜鉛メッキ—後処理（製品の仕訳・梱包、手入れ作業）である。

青年労働者が中心になつて闘いぬいた六〇年安保闘争、六三春闘での無期限ストライキ、そして六〇年中頃以降は、ク企業の壁をこえた地域ぐるみの運動クを開いてきた。この間地域では数多くの闘いがまきおこつた。田中機械の労働者は資本のロツクアウト分裂攻撃との闘いを果敢に闘いぬき（一九六年（六七年）、また細川鉄工の労働者は、八六三日間にわたつて暴力ガードマン追放などを地域の躍動的な結集によつて勝利に導いた（一九七一～七三年）。

こうした中で、市川資本（前オーナー）は、一九七五年四月に抜き打ちに会社更生法の攻撃をかけてきた。職場の団結力が前進し、地域一体の闘いの高揚に対する、司法権力を使つての組合つぶしを狙つたものである。

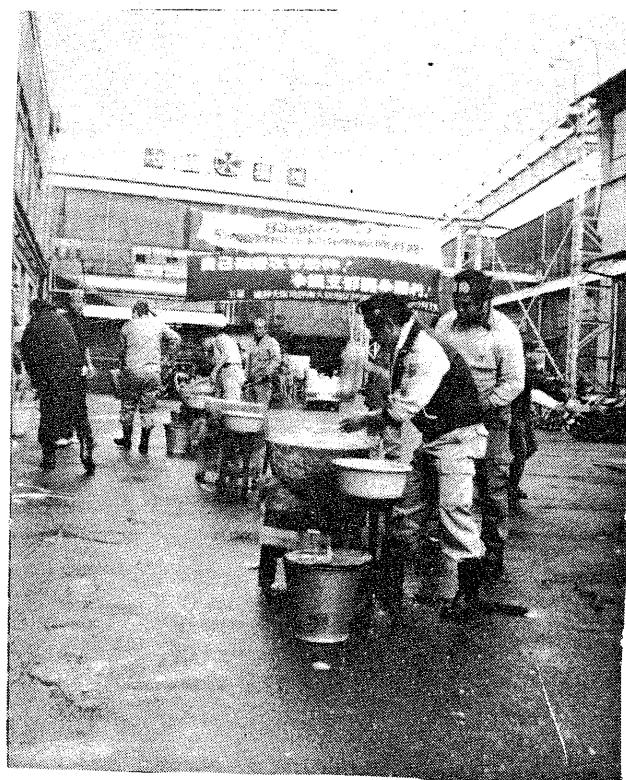
毎年、田中機械構内で開かれる
争議支部支援もちつき大会

これ以降一〇年労働者主体の職場再建をめざし闘いをすすめてきた。合言葉はク一人の首切り合理化を許さないク労働運動の領域拡大（人事、経営、生産、など）クである。

今、更生計画（倒産時の借金返済計画）の最終段階となつており、闘いのひとつつの節目である。

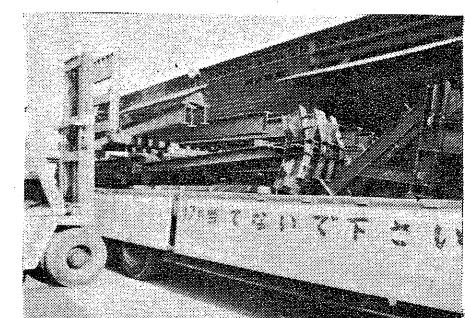
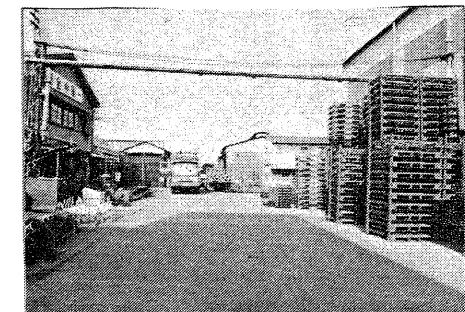
今後の課題は多いが、特に新しい仲間を職場に入れるのは切実な問題である。一〇年の反倒産闘争の中で高令化が進み、人員も不足しがちな現状である。

従つて、私たち労働組合の立場からも、職場再建闘争の勝利のために、若い仲間が闘争の隊列に加わることを願つてゐる。地域の仲間と一緒にになつて工場労働者として労働に汗しながら闘いの前進をはかつていこうではないか。自らの未来を港の労働運動と共に！



工場風景

職場素材

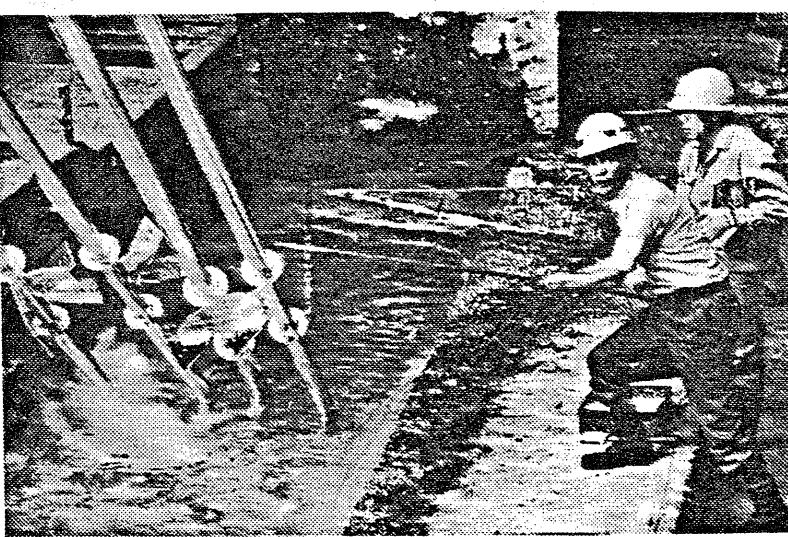
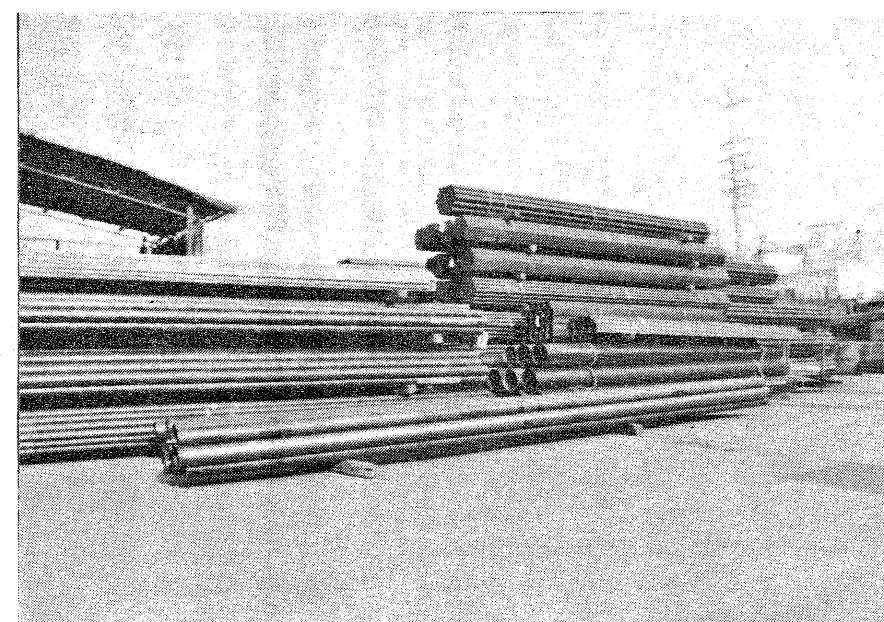


① 募集する仕事の内容

主に、現場労働者（メツキ工、仕上げ工、電気・工務関係）

※これ以外に、欠員あれば非現業

メツキ職場



① 主な労働条件

○賃金 初任給	一五才	一一〇〇〇円	
	（基本給）	一八才	一一三〇〇〇円
		二一才	一一七五〇〇円
		二四才	一二三五〇〇円
○休日	日曜・祝日の外に第一土曜 第三	一二月のみ休み	
○夏期休暇	八月一四～一七日（四日間）		
○年末年始休暇	一二月三〇日～一月四日		
		（六日間）	

○有給休暇 一〇日間 一年勤続ごとに一日増

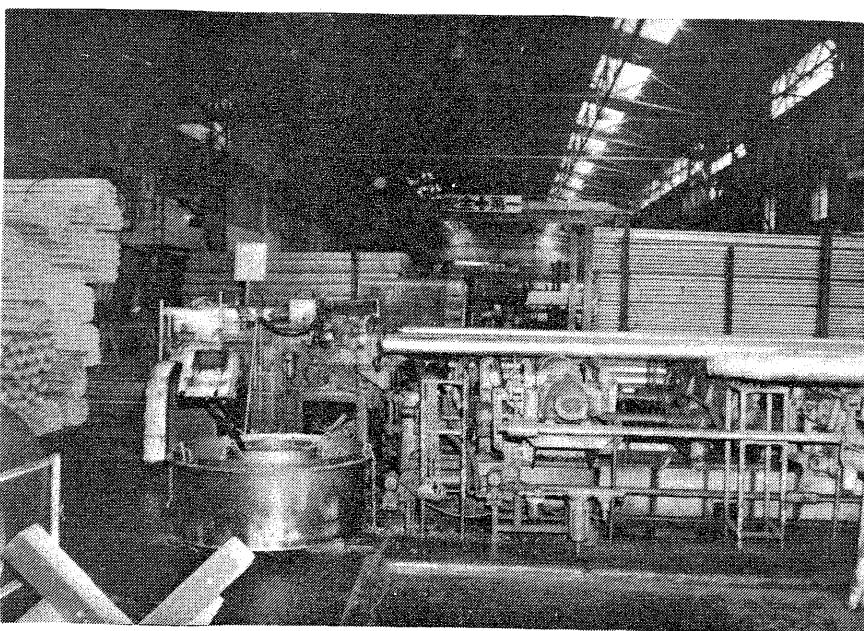
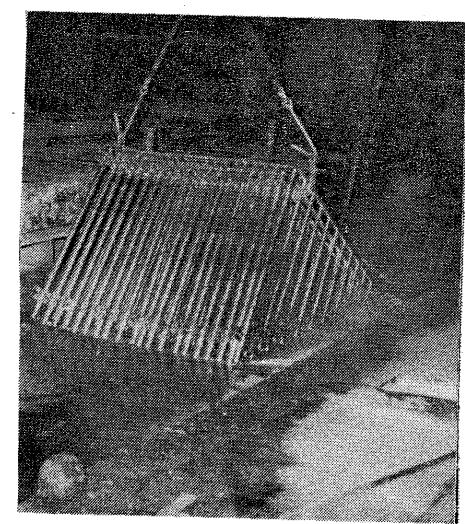
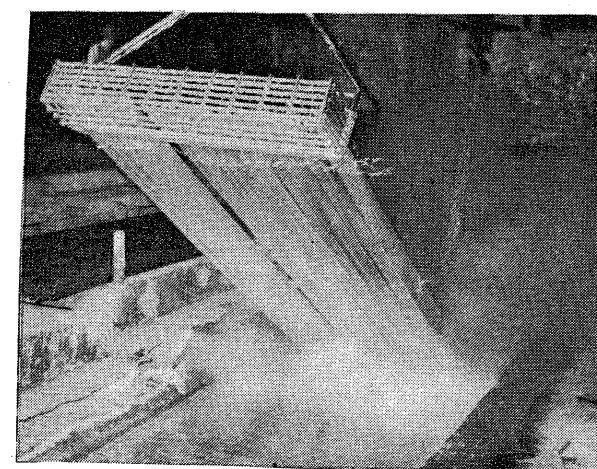
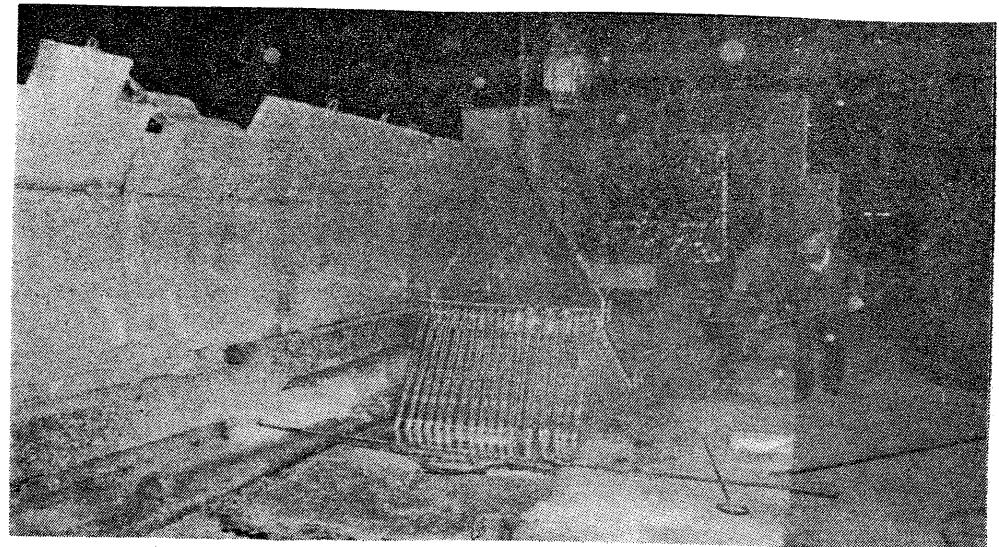
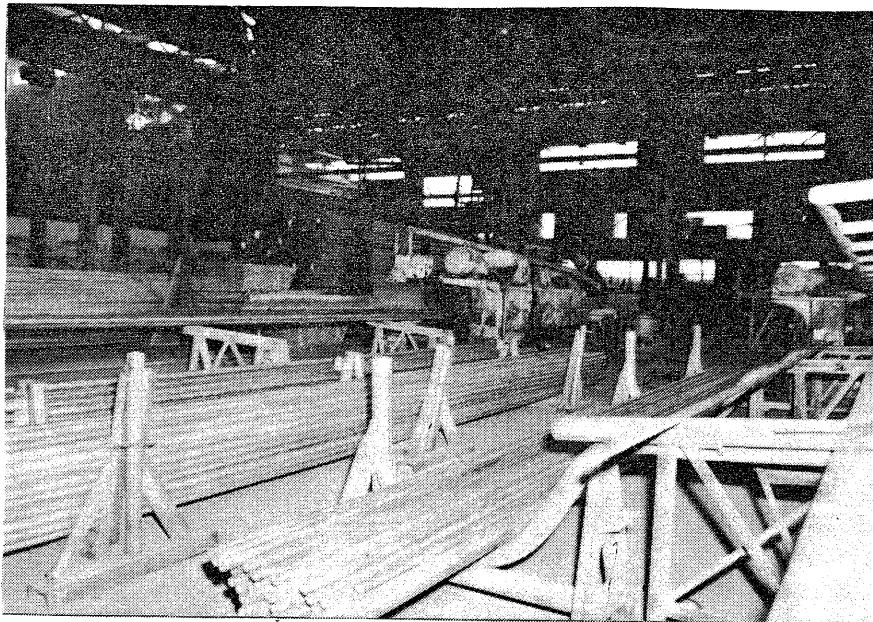
○産前・産後休暇 一六週間

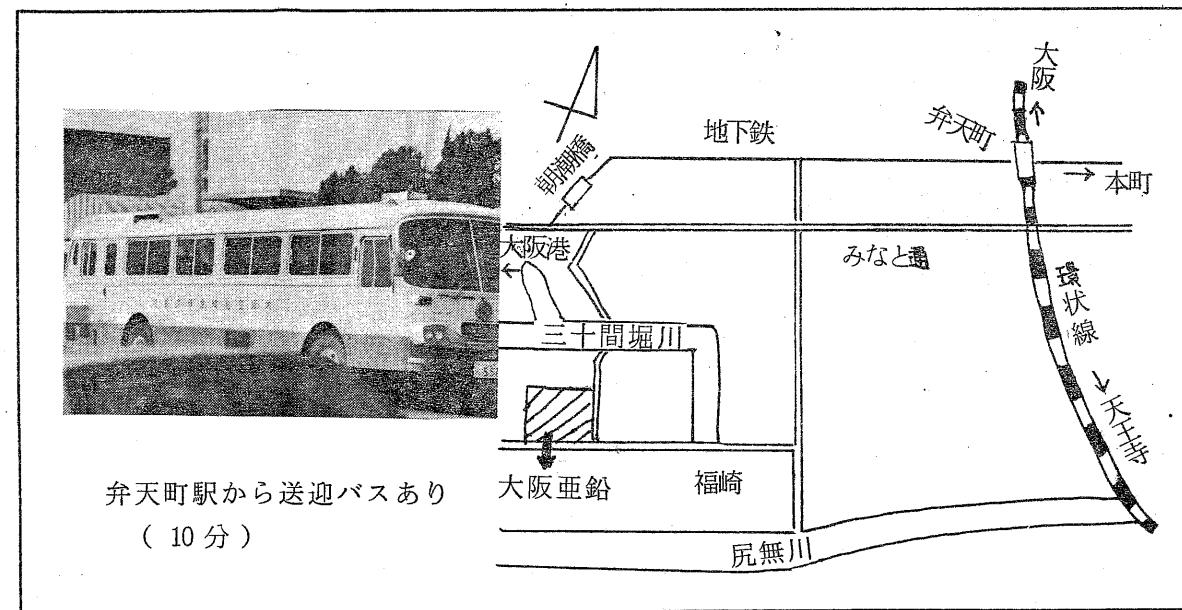
○結婚休暇 七日間

○結婚一時金 二〇万円

○育児時間 一日二回、三〇分ずつ

仕上げ職場







発行者 大阪市港区福崎 2 - 6 - 24
全国金属大阪亞鉛支部
TEL (06) 571-5235